

文教委員会から

◎優秀な教職員の採用と管理職の養成について

Q 優秀な教職員採用のための方策と、管理職試験の一本化の効果について見解を問う

A 大学在学中から「さいたま市が求める教師像」に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感を持つ教員を養成する「さいたま市教員養成あすなろプロジェクト」を開始。優秀な教員の確保、養成を図る。管理職試験の一本化は、教頭の持てる力を選考への準備ではなく、学校経営参画へ向かわせる。それにより、現場課題に対して適切、迅速に対応できる人物の登用が可能になると考えている。



学校運営を任される校長の役割は大きい。学校の

トップを決める選考を緩めることにならないのか？校長昇進試験がなくなったことが、本当に優秀な管理職の登用に資するものであるのか、現段階では疑問を持っている。今後を注視してゆく。

小柳よしふみの地域活動



防災士として避難所運営訓練へ参画



子どもが主役で、子どもだけが市民になれる、子どもがつくるまちミニ浦和



ガン撲滅イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018さいたま」



六町運動会に今年も参加し1等賞



女子サッカー大会を継続支援



わんぱく祭りでのお手伝い @前地通り商店街

第30回 市政報告会

浦和パルコ10階

平成30年
日時 11月18日(日)
18:30～19:45

会場 浦和コミュニティセンター
第13集会室

入場無料

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前

ご住所

TEL



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

小柳よしふみ
市政レポート
2018.11 vol.32



最高の日常を楽しめるさいたま市へ

～これからも選ばれる街であるために施策の充実を～

あんなに暑かった毎日が嘘のように、朝夕は涼しく感じるようになりました。皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか？

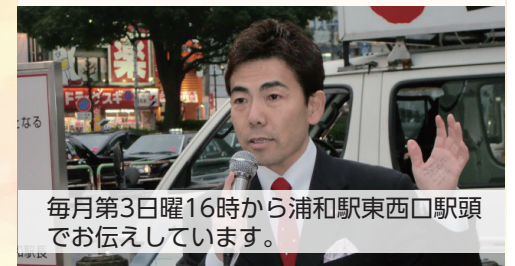
今年は大規模な自然災害が続いております。6月18日の大阪北部地震、7月には四国、岡山、広島などにおける豪雨被害、8月には史上最高の9個の台風が発生し、首都圏直撃の台風により、電車の運転中止や、市内でも倒木などで大きな被害がでました。9月6日には、北海道胆振東部地震により大きな被害とともに広域で大停電が発生。自然災害に対する備えの重要性を、改めて認識したところであります。

また、住みたい街ランキング2018において、本年も大宮駅9位、浦和駅10位がランクイン。交通の便の良さなどが大きな要因との報道があり、市民意識調査においても、交通の便の立地という項目が評価を受けています。今後もさらに評価をより高めていくためには、生活実感の向上を目指していく必要があります。私は、「最高の日常を楽しめる街」の実現によって、市民の幸福度の向上を図っていきたくと考えております。先の災害対策も含めて、施策の充実を図ってまいります。

さて、さいたま市議会は早くも今月末には12月定例会を迎えます。学校工事の請負事業者の破綻や、免震・制震オイルダンパーの不適合問題に関連する公共施設が発覚するなど、9月定例会後にも大きな事案が発生しており、対応が必要となっています。小柳よしふみは、しっかりと取り組んでまいります。

最後になりますが、季節の変わり目は、体調管理も難しい時期となります。皆さまにおかれましては、どうかご自愛いただきますよう、お祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 文教委員会 / 決算特別委員会
オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

TOPICS

さいたま市の人口130万人を突破

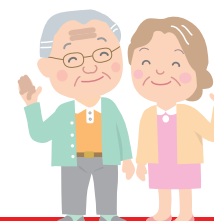
9月18日に人口が130万40人となった。全国9位の人口。平成15年4月1日の政令市誕生時は、105万995人。さいたま市誕生以降、自然増、社会増が続く。岩槻市編入は平成17年4月。

100歳以上の高齢者は、過去最高455人

本市の高齢者人口297,236人(前年度日+4,300人)。高齢化率は、22.84%(同+0.17%)でいずれも過去最高となった。高齢化率は、全国27.7%、埼玉県26.0%。100歳以上人口は455人(うち女性が402人)。最高齢は、女性109歳、男性106歳。

第4回 さいたま国際マラソンは、12月9日(日)開催

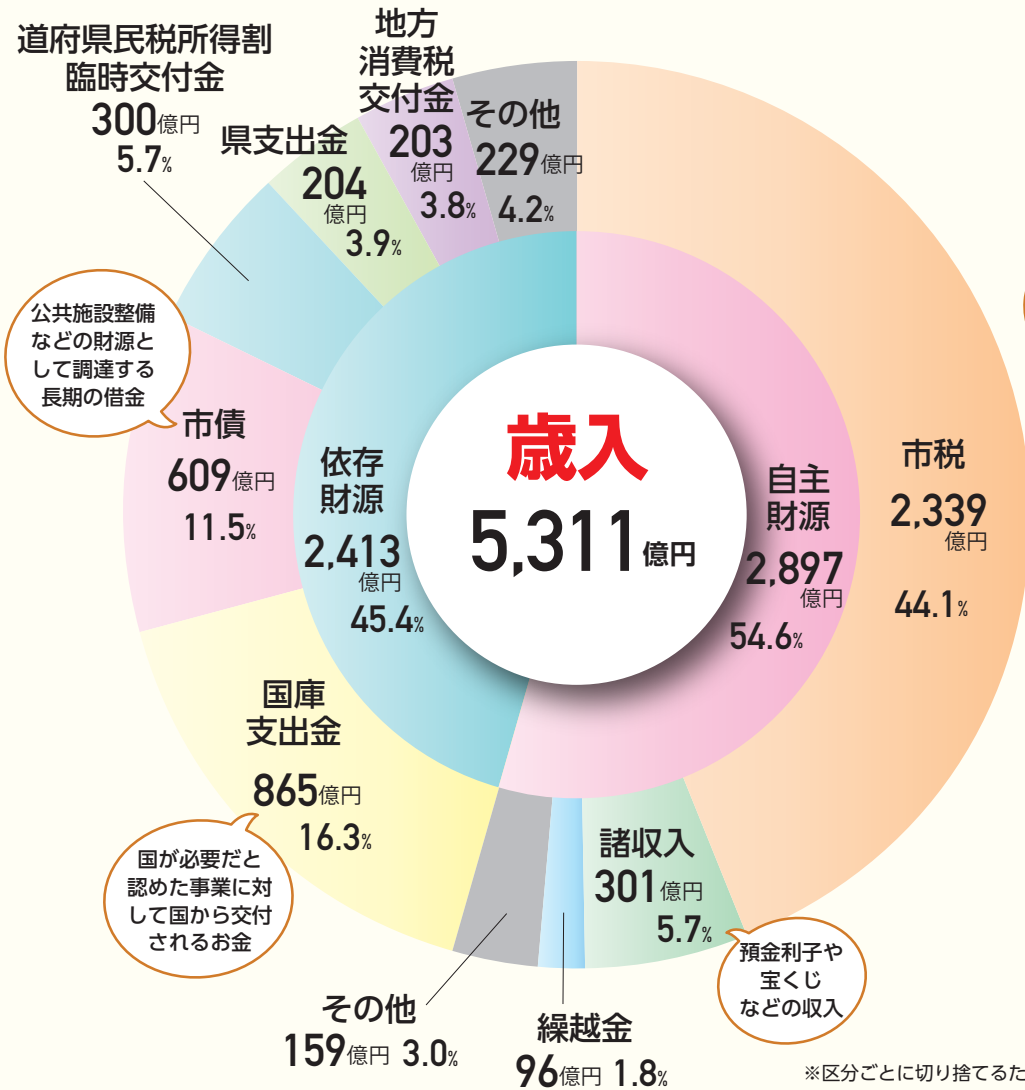
東京2020オリンピック女子代表選考レース、市民ランナーとともに同じコースを走る。昨年は定員割れした参加者も、ボランティア5,000名も定員に達したとのこと。当日周辺をご通行の方は、交通規制の情報をご確認ください。



平成29年度さいたま市一般会計決算報告

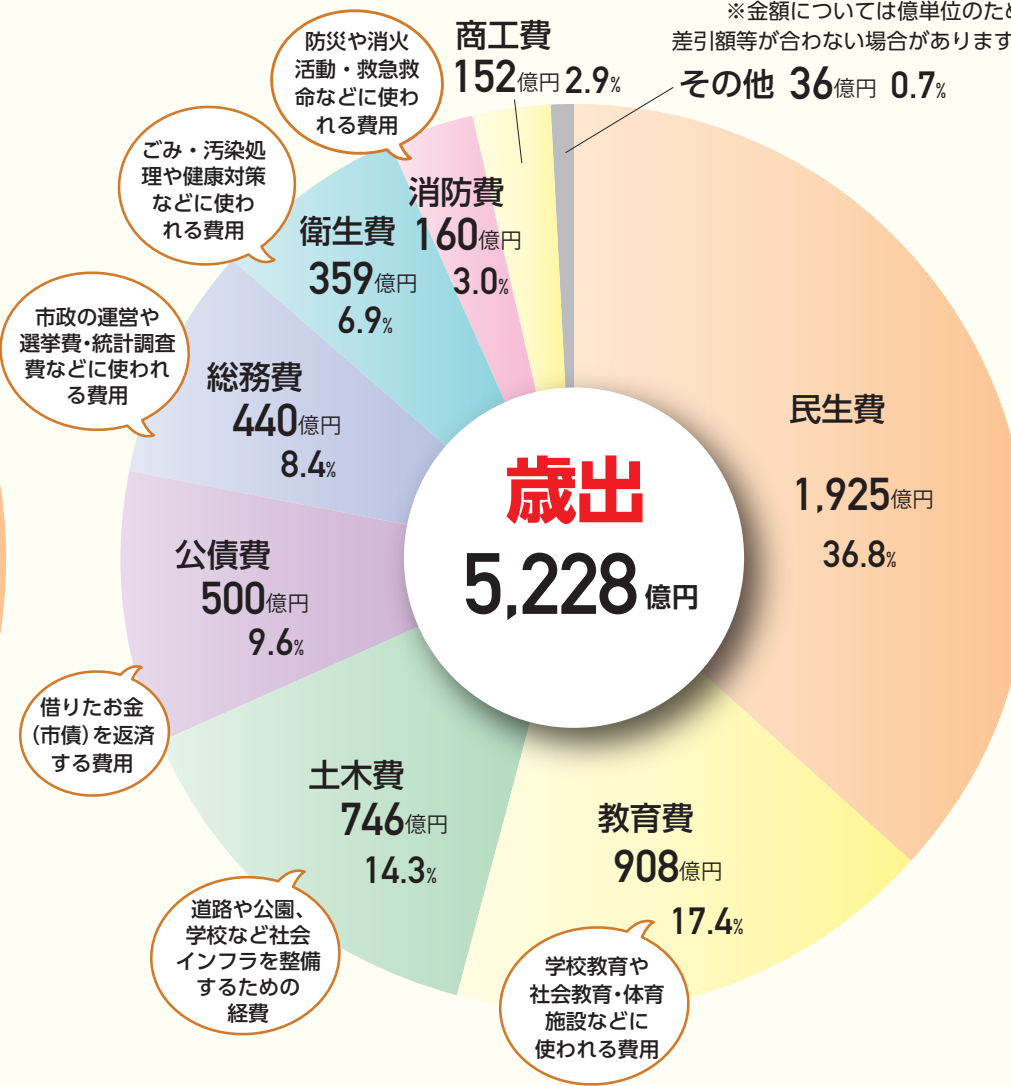
決算のポイント

- さいたま市誕生以来、最大の決算規模
- 実質収支は、37億76百万円で連続して黒字達成
- 市税収入は、前年度比38億90百万円、1.7%増加
- 歳出では、民生費・教育費・土木費が増加



<表1>

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
① 予算現額	5580.5 億円	4927.0 億円	653.4 億円	13.3 %
② 歳入決算額	5311.2 億円	4608.6 億円	702.5 億円	15.2 %
③ 歳出決算額	5228.0 億円	4511.8 億円	716.2 億円	15.9 %
④ 歳入歳出差引額(②－③)	83.1 億円	96.8 億円	▲13.6 億円	▲14.1 %
⑤ 翌年度へ繰り越すべき財源	45.4 億円	73.0 億円	▲27.5 億円	▲37.8 %
⑥ 実質収支額(④－⑤)	37.7 億円	23.8 億円	13.9 億円	58.6 %
⑦ 前年度実質収支額	23.8 億円	52.5 億円	▲28.7 億円	▲54.7 %
⑧ 単年度収支額(⑥－⑦)	13.9 億円	▲28.7 億円	42.7 億円	-



※区分ごとに切り捨てるため各数値の合計と合計額が一致しません。

【9月定例会から】

本定例会においては、決算関連議案の認定、学校施設のブロック塀等の緊急対策のための補正予算議案等が可決された。先の大阪北部地震において児童が犠牲になったこともあり、学校施設のブロック塀の改修は急務である。また、進行中である美園南中学校新築、仲町小学校増築などを請け負う企業体の事業者から民事再生の申し立て(その後、破産申請)があった。来春における児童生徒への影響を最小限に留めるよう、対策が急務となっている。



小柳の視点

過去最大規模となった一番の要因は、教職員人件費が、法改正により県から市に税源移譲されたことが大きい(300億94百万円)。市税収入は伸びており(+38.9億円)、財政状況を判断する指数も良好である。民生費の増加は、子ども家庭総合センター整備、保育環境整備関連事業、福祉関係の給付事業の増加による。高齢化が進むにつれ、民生費の増加は今後も予想される。市債の管理も含め、義務的経費の増加による財政の硬直化については要注意である。また、歳入確保のための積極的な取り組みと、民間力の活用による経費節減、市民サービスの向上へ向けた一層の努力が必要となる。



決算委員会より

公文書の作成・適正管理について

- Q 病院建設工事調査特別委員会からの提言などもあったが、適正な文書の執行、管理の強化に関して見直した点についての見解を求める
- A 「適正文書事務の執行について」という通知により職員への周知徹底を図り、研修の実施、文書管理の状況調査を行った。文書管理規則の改訂に向けた準備を進めている。



小柳の視点

昨年度は、国においても公文書の改ざん等、あり方が問題になった。本市においても、病院建設工事調査特別委員会における審査でも、あるべき議事録がない等の問題が生じていた。公文書は、市民のものであるという認識に立ち改善を進めるべき。

受動喫煙対策の推進について

- Q 喫煙禁止区域の拡大と、屋外喫煙所の整備・改善への積極的な取り組みについての見解を求める
- A 東京オリンピック・パラリンピックの会場ともなる、さいたま新都心駅周辺については、指定に向けて検討していく。市内11か所の指定喫煙場所のうち、分煙パーテーションが設置してあるのは2か所。来年度は、南浦和駅西口指定喫煙場所に、パーテーション設置を予定している。



小柳の視点

条例において、市は必要な施策を実施しなければならないとされている。パーテーションは、すべてたばこ会社の費用での設置である。他のいくつかの主要駅の喫煙所と比較すると作りも簡素で見栄えも良くない。パーテーションがない等は論外。より積極的な取り組みが必要と考える。

熊本地震を踏まえた地域防災計画の改訂について

- Q 平成28年熊本地震の教訓を地域防災計画の改訂においてどう生かしたのか？
- A 「広域拠点備蓄倉庫」(北区宮原町)の整備や、民間事業者の物流センターを活用した「災害時支援物資輸送拠点」(西区宮前町)を整備。また、本市が被災した時を想定した「人的支援」「物資の受け入れ」の手順を決めた受援計画を策定した。



小柳の視点

熊本地震では、広域物流拠点において支援物資が滞留し、避難所への供給が遅れるという問題があった。民間企業の物流倉庫の活用や、受援という概念を取り入れたのは評価する。

公園トイレの洋式化の推進について

- Q 公園トイレの洋式化の現状と今後の推進についての方向性を問う
- A 公園トイレの設置個所346か所の内、和式のみが166か所ある。平成28年度は2か所、29年度は3か所洋式化を行った。今年度については、調公園など6か所を予定している。



小柳の視点

子どもがたくさん集まる公園や保育所などの施設の近隣にある公園、祭りなど大きなイベントなどで使用される公園は、積極的に洋式化を進めるべき。

